



bousai/bouhan通信

平成28年12月 一の宮小防災リーダー

防災・防犯家族会議を行いました！

先日、子ども達の安全確保のため、ご家庭で家族会議を行っていただきました。話し合い後のカードを見せていただいたところ、とても詳しくご記入いただいております、防災・防犯に対する意識の高まりを感じました。ご協力に感謝いたします。

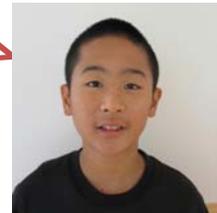
危険箇所の洗い出しを行ったことで、そこを通る際に気を付けたり、危険な目にあった場合にどこに駆け込んだらよいかの確認ができたりしたようです。こういったことを日頃から意識することで、災害や犯罪の抑止効果が得られるのではないかと思います。



また、PTA地域委員の方々にご協力いただき、「子ども110番の家」の設置を進めているところです。今回、家族会議を実施して、よかった点の1つとして、設置箇所に偏りがあることがわかったことがあげられます。学校～自宅間に1軒も「子ども110番の家」がないところがあり、早速、連絡を入れてもらい、設置することになりました。とても逆に、思っていた以上に多く設置されているところもあり、安心したという声も聞かれました。このような情報をたくさんいただ

けると、たすかります。今後、必要なところには設置箇所を増やし、子ども達が安心して過ごせる地域環境となるよう努めていきたいと思っております。

初めて家族会議をしたことで、自分の家の周りにたくさん子ども110番の家があることを知りました。いざというときに、かけこめるところがわかったので、よかったと思いました。(まさひこ)



自主防災モデル地区避難訓練を行いました！

自主防災組織モデル地区を4地区設定し、中学校が事務局となり、避難訓練を実施しました。多くの参加者があり、防災に対する関心の高さが伺えました。要援護者を誰が援護するのか、人員確認は誰がするのか等を事前に確認し、区長さんや消防団の方々が連携しリーダーシップをとられたことで、避難行動がスムーズに進みました。反省点として、こういった訓練の際にも、訓練だからこそ、非常時持ち出しを持参したり、ヘルメットや厚手の帽子等、頭部を守るものが必要である等が挙げられました。いつ起きるかわからない災害に向けて、このような訓練の大切さを実感しました。

